

とよおか



農香だより

No.52
2022.

8



さつまいもはやく大きくなあれ「城崎こども園」

- 頑張ってます! 農地利用最適化推進活動** 2P
- きばっとんなる人らあ** 3P
- 農地パトロールの実施** 4P
- 特集 伝統農産物・特産農産物の紹介** 5P

奈佐地区
(豊岡地域)



奈佐地区は谷幅が狭いため、圃場は小さく、経営規模も小さいながらも水稲を中心に耕作されています。

いわゆる「山田」も多く、山間の奥地まで農地が開墾されており、昔の人々の開拓精神には感心させられます。その山田も耕作放棄が進みほとんどが作付けされなくなり一部は山林化しています。

各集落で農会長や区長を中心に「守るべき農地」を設定し、その中から遊休農地を増やさないことを目指しています。しかし、農業従事者の高齢化と担い手不足により離農が進み、残念ながら遊休農地も年々増えつつあります。農作物の被害や水利施設の老朽化が拍車をかけているのも現状です。そんな中でも、人・農地プランの策定や農地中間管理機構の利用、営農組織活動の充実などで農地を守るうと日々一生懸命に活動しています。

内町地区では農地中間管理機構関連の農地整備事業で、今年度から15ヘクタールを再整備として工



石原推進委員



森田農業委員

事着手し
ています。
圃場の
大型化に
より作業
効率の向上と給排水を自然庄のパイプラインにすることで開放水路を無くし、草刈り作業の機械化・省力化を図ります。さらに法人化した営農組織により持続可能な農業経営を目指していこうとしています。

各集落は地に合った経営を目指し、皆で知恵を出し合い営農しております。行政からの更なる助成支援にも期待するところです。

今後も持続可能な農業経営が出来るよう、関係機関等の皆様のご協力を得ながら、農地利用の最適化の推進の手助けをしていければと考えています。

(推進委員 石原 章二)



内町地区下流(北側)からの耕地風景(ドローン撮影)

西気地区
(日高地域)



西気地区は日高地域の西部に位置し、標高300m〜370mの盆地に7区約700人が暮らしています。耕地面積は約162ヘクタール、田のほとんどが圃場整備されており、高原性の気候や水にも恵まれ、良質な米が穫れます。

昭和の時代には高原野菜の栽培・出荷も盛んでした。またスキー産業の発展と共に四季型観光化が進み、多くの民宿が宿泊者に提供する米や野菜を自家栽培し、耕地は農作物でいっぱいでした。

しかし現在は多分に漏れず、遊休農地が増えつつあります。その要因の1つ目は「少子高齢化等による耕作者の減少」、2つ目は「安い米価」、3つ目は「機械にお金が掛かり過ぎるなどの膨らむ生産コスト」だと思っ



神鍋山噴火口から西気耕地を望む

思っています。これらに加え、宿泊者の減少や民宿の廃業などによ

り農作物を
沢山作る必
要がなく
なったことによる農業規模の縮小も当地域特有の大きな要因です。

このような状況の中、私は「農地は農業委員と農地利用最適化推進委員だけでは守れない」と感じ

ており、専ら、各区の農会長と情報を共有し、農会長に「農地を荒らさないように動いて下さい」とお願いするのが活動の主体となっています。また、各区長にも「農地の課題＝地区の課題」として理解して頂き、各区での補助事業の活用や研究も進んでいます。今後はさらに区長や農会長、担い手、コミュニティ組織等との連携を強め、微力ながら「西気地区の農地を守るお手伝い」ができればと思っ



和藤推進委員



原農業委員

(推進委員 和藤 達也)



田植え後の水面に映る「逆さ神鍋山」

「小菊生産への情熱」

株式会社徳網建設（出石町中村）

徳網建設アグリ事業部に所属する平山元基さん（49才）は、入社されて8年になります。

以前、運送業に従事されていた頃、但馬各地に農業資材・肥料農薬・水稻苗の配達をされたこともあり、地元の農業事情を熟知され、また生き物を自分で育てて結果を出すという農業にはずっと関心を持たれていました。折りしも徳網建設の求人募集を知り、すぐに面接を受け採用されました。80アールの圃場では、ビニールハウス4棟を含め、露地との組み合わせで周年出荷されています。小菊・ストック・スプレー菊・新鉄砲百合を栽培され、主な出荷先は「姫路生花市場」、「たじまんま」です。消費者の生の声を聞けるという点では「たじまんま」への出荷が期待できます。花を陳列している時、お客様の声が入りました。「先日買った徳網さんの小菊、長持ちしたわあ！」思わず「よっしゃあ！」とガッツポーズするほど嬉しかったそうです。

主力の小菊については、光中断（夜間に5時間LED遠赤色光照射）という手法で、本来7月に開花するところ、盆前に照準を合わせて出荷されるそうです。「開花の時期の調節には降雨・気温という気象に左右されながら電照を終了させる時期の決定があり奥深いですね。私なんかまだまだですよ！」と微笑む眼差しの奥には飽くなき探究心が垣間見れました。植物の生長・生育には植物生長ホルモン、気温・日長の関わる花成の機構の関与があるそうです。増々の好奇心で生花の栽培に挑戦してってください。

（農業委員 西沢 泰裕）



アグリ事業部 平山元基さん



光中断のLED設備

「有機栽培で頑張る」

認定新規就農者 立脇収平さん（出石町宮内）

立脇収平さん（29才）は大学卒業後、豊岡市農業スクールで出石町小野のナカツカサファームにて3年間研修され令和元年に就農されました。出石町水上の長年遊休農地だったところを借り受け整地され、現在はビニールハウス5棟（50m）と畑を1ヘクタール経営されています。ビニールハウスはネギや小松菜、ほうれん草などを周年で栽培され、露地野菜では、ピーマン（9アール）、ニンジン（40アール）を作られています。

仕事として農業を選ばれたことについて尋ねたところ、中学生の時にトライアルウイークで小野のナカツカサファームで農業体験され、その後、度々アルバイトに行くようになり、有機農業の素晴らしさを知ったそうです。大学を卒業し就職活動を始めたときに、中務さん（現 なかつかさ 農地利用最適化推進委員）に今後について相談され、話をする中で農業へ進むことを決められました。

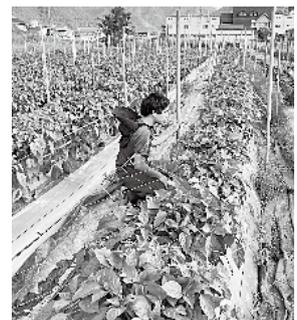
栽培スタイルは有機栽培にこだわり、有機JASの認証も取得され、学校給食センターやイオンまたコープ自然派へ出荷され、安全安心な野菜として、消費者に喜ばれています。最近是人参のジュースも作られており、将来は増産していきたいとのこと。

農業の仲間としては、豊岡オーガニックワークスとJAたじま青壮年部に所属され、若い力で豊岡の農業を盛り上げておられます。新規就農3年目で今の経営ができていることで自信が付き、規模拡大や、将来は法人化も目指して行きたいと話しておられました。

（農業委員 仲川 弘之）



立脇収平さん



有機農業を継承

農地パトロールを実施しました。

ストップ!遊休農地 ～農地と担い手を守り活かしてゆくために～

農業委員会では優良農地の確保と有効利用の促進を図っていくために、遊休農地の発生防止に取り組んでいます。

7月15日から8月2日にかけて、市内を11班（豊岡北A、豊岡北B、豊岡南A、豊岡南B、城崎、竹野、日高東、日高西、出石北、出石南、但東）に分けて農地パトロール（農地利用状況調査）を行い、昨年、利用意向調査を実施した農地が、意向どおりに実施されているか、新たに発生した遊休農地、解消された農地等の確認を行いました。

農地パトロールの結果、遊休農地があるときは、農地法第32条に基づき、その遊休農地の所有者に対し、その農地の農業上の利用の意向についての調査を行います。

また、高齢で耕作をやめられる方や、耕作者が見つからない農地を早めに把握し、次の耕作者につなげる農地利用の最適化の活動にも取り組んでいます。

農地にかかる相談は、地元の農業委員・農地利用最適化推進委員までご相談ください。



農地パトロール実施中



毎年、市内を巡回調査しています

農地の売買・贈与・転用等をする場合、農地法の許可が必要です。

農地法の適用対象となる「農地」とは、耕作の目的に供される土地と定義されています。（農地法第2条第1項）土地登記簿上の地目が田・畑ならもちろんですが、宅地等、農地以外でも、土地の現況が農地の場合、権利移動や農地転用するときは、農地法の許可を受ける必要があります。

農地法許可申請の種類及び許可までの期間

【申請受理から許可まで約1か月】

- ・農地法第3条…農地を耕作目的で権利移動（売買、賃借等）
- ・非農地証明申請、農地改良届（農地の形状変更）

【申請受理から許可まで約2か月】

- ・農地法第4条…農地を農地以外へ転用（権利移動伴わない）
- ・農地法第5条…農地を農地以外へ転用（権利移動伴う）

※申請書の様式：農地法第3条は豊岡市のホームページ、農地法第4条、第5条は兵庫県のホームページにあります。

農地法許可申請（届出）受付日

申請受付は、毎月1日から5日です。
最終日の5日が休業日の場合は翌開庁日

年	月	許可申請(届出)受付日
2022	9月	1日(木)、2日(金)、5日(月)
	10月	3日(月)、4日(火)、5日(水)
	11月	1日(火)、2日(水)、4日(金)、7日(月)
	12月	1日(木)、2日(金)、5日(月)
2023	1月	4日(水)、5日(木)
	2月	1日(水)、2日(木)、3日(金)、6日(月)
	3月	1日(水)、2日(木)、3日(金)、6日(月)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、総会の開催を延期し、農地法許可まで時間を要する場合があります。



〒668-0312 豊岡市但東町南尾135番地



電話 0796-54-0843

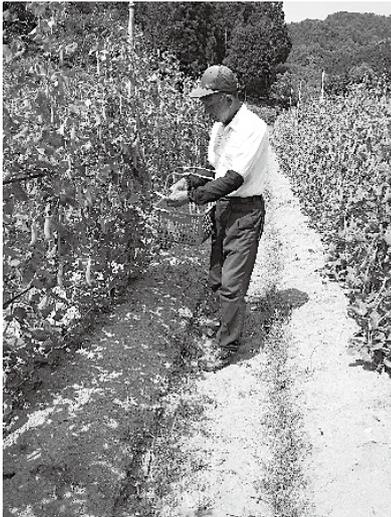
昔から農家や地域で大切に守られてきた多くの特産農産物を皆さんに知ってもらい、地域農業の振興に役立ててもらうため、この特集を行っています。今回は「実エンドウ」と「神鍋高原キャベツ」です。

但東町の実エンドウ

5月25日、JAたじま但東営農生活センター渡邊さんの案内で、豊岡市但東町河本但東町野菜生産組合実エンドウ部会長一嶋さんの栽培圃場を訪れ、話を聞きました。

一嶋さんの実エンドウ栽培歴は15年になります。但東町での栽培となると、50年ほど前になるようです。ピーマンの収穫が始まる前に、何か換金できる野菜はないかと探していたところ、ピーマンの畝をそのまま播種でき、支柱などもそのまま使え、栽培も比較的簡単なことから栽培が始まったということでした。現在8人のメンバーで、約32アールを栽培されています。難しい点は連作障害です。栽培圃場は少なくとも5年は休作しないと障害が出るようです。また収穫も短期間での作業なので、手間がいるようです。

丁度訪れた日は収穫始めで、例年に比べると一週間ほど遅れていますが、品質は良いということでした。収穫適期はさやがざらざらになったときで、5粒以上詰まったものをL規格



実エンドウ部会長 一嶋さん



さやが薄く甘いのが特長

格として出荷し、M規格や規格外のものもはむき身で出荷しています。豊岡中央青果に出荷していますが、もう少し量を増やし、京阪神市場に出荷したいと言われています。但東町の実エンドウは、ウスエンドウという品種ですが、さやが薄く甘いのが特長です。おいしい但東の実エンドウを食べてみませんか、そしてピーマンの後作など、新規に栽培を始めてみませんか。

(農業委員 大原 博幸)

神鍋高原キャベツ

6月19日(日)に道の駅「神鍋高原」にてキャベツ祭りが開催されました。今年で14回になります。10時〜13時にかけて盛り沢山の催しで賑わいました。

500個が用意された新鮮キャベツ販売(一玉100円)。なくなり次第終了のキャベツ焼きも振る舞われました。小学生までが参加するキャベツ運び大会。そして恒例のキャベツ大食い大会(大人の部)では、キャベツ1玉の丸かじり競技として今年も大変盛り上がりしました。

その他、お食事処「かんなべ」ではキャベツまつり限定メニュー(数量限定)の提供、神鍋温泉「ゆとりぎ」では、景品付きくじ引きがあり、こちらも大変好評でした。

神鍋のキャベツ栽培は、9月中旬に種まきを行い、10月下旬から11月に苗の移植を行います。春になり、追肥と中耕を3回ほど行い、防虫剤の散布をして青虫の対策を行ってから6月になりようやく収穫することが出来ます。神鍋の美味しいキャベツを栽培するには大変な労力がかかります。

現在、出荷農業者は16名程です。

最盛期には196名でしたが、高齢のため離農者が年々増え現在に至っています。

道の駅「神鍋高原」では、キャベツからキャベツチップを作り、袋詰めしてお店で販売され、美味しくよく売れているそうです。

(農業委員 和田 敏明)



採れたての神鍋高原キャベツの販売



道の駅で販売される「キャベツチップ」

「農業委員」・「農地利用最適化推進委員」募集の予告

今期活動いただいている委員の任期が、2023年4月20日に満了します。これに伴い、次期委員の募集を予定しており、事前にお知らせします。募集予定時期は、令和4年10月～11月頃です。詳細が決まりましたら、市のホームページなどでお知らせします。委員には、市内の農地を守り、活かすための活動をしていただきます。



農 業 委 員

農業委員会総会における市内農地の賃借・売買の許可、農地転用の許可、農地所有者や耕作者の意向把握などを行います。

農地利用最適化推進委員

担当地区での農地集積や遊休農地の発生防止・解消などの活動を行います。

農業者年金お知らせ ～老後の生活を安心サポート～

特徴 1 農業者なら広く加入できる

- 加入資格 ▶
- ★年間60日以上農業に従事する
 - ★国民年金の第1号被保険者（保険料納付免除者を除く）で、
 - ★20歳以上60歳未満の方
- ※年間60日以上農業に従事する60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます

特徴 4 終身年金。80歳前に亡くなられた場合には、死亡一時金を遺族の方に支給

- ★年金は生涯受給できます。
- ★仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなられた場合には、80歳までに受け取るはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額がご遺族に死亡一時金として支給されます。

特徴 2 積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い

- ★加入者の積み立てた保険料とその運用益を合わせた額により将来受け取る年金額が事後的に決まる積立方式・確定拠出型を採用しています。
- ★加入者・受給者数の増減に左右されない、安定した制度です。

特徴 5 税制面の優遇措置が大きい

- ★支払った保険料は全額（最高額1人当たり80万4千円）が社会保険料控除の対象になり、所得税・住民税等の節税になります。

特徴 3 通常加入の場合、保険料の額は自由に決められる

- ★月額2万円（35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円）から6万7千円まで千円単位で選択できます。

特徴 6 政策支援加入なら、保険料の国庫補助がある

- ★一定の要件を満たした意欲ある担い手は保険料の2割、3割、5割のいずれかの補助が受けられます。
- ★国庫補助を受ける場合の保険料は月2万円に固定されます。

GEO
PARK
+
Aquarium

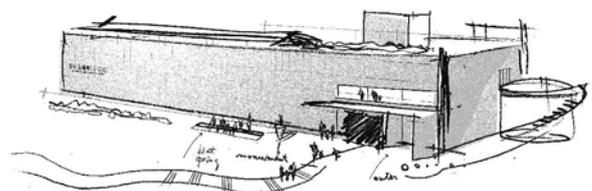
ジオパークの中の海的水族館



城崎マリンワールド

KINOSAKI MARINE WORLD

いのちの博物館 日和山海岸ミュージアム
HIYORIYAMA COAST MUSEUM



農地利用最適化推進委員・農業委員の担当地区一覧 (任期：2023年4月20日まで)

地域名	担当地区名	農地利用最適化推進委員		農業委員	
		氏名	住所	氏名	住所
豊岡地域	八条・豊岡地区	中田 正夫	上 佐 野	西 沢 泰 裕	八 社 宮
	中 筋 地 区	池 畑 一 己	加 陽		
	三 江 地 区	河 本 嘉 一	六 地 蔵		
	田 鶴 野 地 区	西 登 己 夫	船 町		
	五 荘 地 区	原 田 益 男	栃 江	森 田 強	上 陰
	奈 佐 地 区	石 原 章 二	内 町		
	新 田 地 区	松 岡 正 人	河 谷	栗 原 安 信 子 平 峰 英 子	三 宅 三 宅
	神 美 地 区	松 岡 秀 明	上 鉢 山		
	港 地 区	絹 本 實	気 比	高 尾 利 美	気 比
城崎地域	全 地 区	岩 本 照 雄	城 崎 町 上 山	石 橋 重 利	城 崎 町 来 日
竹野地域	竹 野 南 地 区	井 垣 和 芳	竹 野 町 小 丸	瀧 下 康 徳	竹 野 町 小 城
	中竹野・竹野地区	山 根 秀 次	竹 野 町 羽 入		
日高地域	国 府 地 区	和 田 美 好	日 高 町 池 上	平 野 薫	日 高 町 中
	八 代 地 区	中 村 勝 美	日 高 町 八 代		
	日 高 地 区	安 岡 平 夫	日 高 町 久 田 谷	宮 岡 正 則	日 高 町 浅 倉
	三 方 地 区	柴 田 公 男	日 高 町 栗 山	和 田 敏 明	日 高 町 庄 境
	清 滝 地 区	辻 野 吉 昭	日 高 町 名 色	中 島 覚	日 高 町 石 井
	西 気 地 区	和 藤 達 也	日 高 町 栗 栖 野	原 清 美	日 高 町 万 劫
出石地域	弘道・福住・ 寺坂地区	川 見 正 康	出 石 町 上 野	井 谷 勝 彦	出 石 町 桐 野
	菅谷・室見台地区	杉 本 武 己	出 石 町 細 見		
	小 坂 地 区	川 崎 重 雄	出 石 町 三 木	大 原 博 幸	出 石 町 田 多 地
	小 野 地 区	中 務 喜 紹	出 石 町 口 小 野	仲 川 弘 之	出 石 町 上 村
但東地域	資 母 地 区	松 本 雅 浩	但 東 町 口 藤	大 谷 均	但 東 町 畑
	合 橋 地 区	千 原 武 敏	但 東 町 西 谷		
	高 橋 地 区	桑 田 均	但 東 町 平 田	上 坂 定	但 東 町 平 田

女性活躍担当（女性農業者相談窓口等）… 原 清美 農業委員、平峰 英子 農業委員

【農業委員会会長：大原博幸、会長職務代理者：原清美、村田憲夫】

問合せ先

豊岡市農業委員会事務局（市役所本庁舎2階・窓口9番）
 電話：0796(21)9021 FAX：0796(24)8114
 E-mail：nougyouiinkai@city.toyooka.lg.jp

表紙について ▶ マイクロバスで出かければ、まるで遠足! みんなで楽しく畑にGO!! 「城崎こども園」

気比の畑でいろいろな野菜作りに取り組まれている「城崎こども園」を訪ねました。4年ほど前から気比地区の方より畑を借り受け野菜作りが始まりました。4月25日、うさぎ組、きりん組、ぞう組の子どもたちは園長先生が運転するマイクロバスで畑へ出かけます。

この日は「なると金時」苗200本をひとつずつ丁寧にマルチの中に植え、強い日差しで日焼けしないように、採りためておいた「ダンジリ（イタドリ）の葉」を苗の上に被せ、ジョウロでしっかりと水やりをしました。28日には「安納芋」苗も100本追加し合計300本の芋畑の出来上がりです。

10月に掘ったさつまいもで焼きいも大会、11月には畑で育ったほかの野菜と一緒に収穫祭も予定しています。

こうした体験を通じて、最初は土を触ることも嫌がっていた園児もいましたが、畑にいる虫などのいろいろな生き物に興味を持ったり、土の感触やにおいを嗅いだり野菜の香りやいろんな種類の花や実にも少しずつ興味が広がっているようです。

今後、市内各学校園でそれぞれの条件を活かしながら、さらに「食育活動」が広がることを願っています。
(農業委員 高尾 利美)



職員人事異動

令和4年4月1日付人事異動により豊岡市農業委員会事務局職員の異動がありました。

新任 よろしくお願ひします。 **旧任** お世話になりました。
 事務局長 **安藤 洋一** 事務局長 **丸谷 祐二**
 主任 **北村 亜衣** 主査 **山口 淳也**

全国農業新聞を購読してみませんか!



農業の最新情報を提供

週刊(毎週金曜日発行) 月700円
(送料、消費税込)

*お申し込みは 農業委員会事務局または、地元の農業委員・推進委員まで

編集後記

高騰ショックが続いています。テレビや新聞では、食料品の値上げが報道されていますが、農業でも農業機械の値上げや原料不足により肥料が大幅に値上げされます。農産物は値上げのコストアップ部分を販売価格に転嫁しにくく、このままでは、農業経営が持続できなくなる農家も出てくると思われ、そうなること、農地の遊休化が増加することも考えられます。また、国会では、農地の集約化と人の確保・育成、農地保全による荒廃防止などを目指す人・農地関連法が可決され、農地の保全に農業委員会の役割がますます重要になってきます。

豊岡の農地を守っていくためには地域の皆様方の一層のご協力とご支援が必要です。今後ともよろしくお願ひします。
 最後に第52号「とよおか農委だより」の発行にあたりご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

(編集委員長 仲川 弘之)



農委だより第52号は私たちが担当しました。

後列左から 和田委員、上坂委員、西沢委員
 前列左から 大原会長、仲川委員、高尾委員